



FREXY

フレクシー

取付・取扱 説明書

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書は「フレクシー」を安全に組立て、取扱うためのものです。説明書に従って組み立ててください。
万一従わなかった場合、破損やけがの原因になることがあります。
不明な点がございましたら、販売店にご相談ください。



この警告/重要マークが付く説明内容については特に注意をしてください。ただし、この説明書のその他の説明が重要ではないということではありません。

重要

この説明書は今後、必要な時のために大切に保管してください。

〈 安全のための重要な説明 〉



以下の部分にご注意ください。

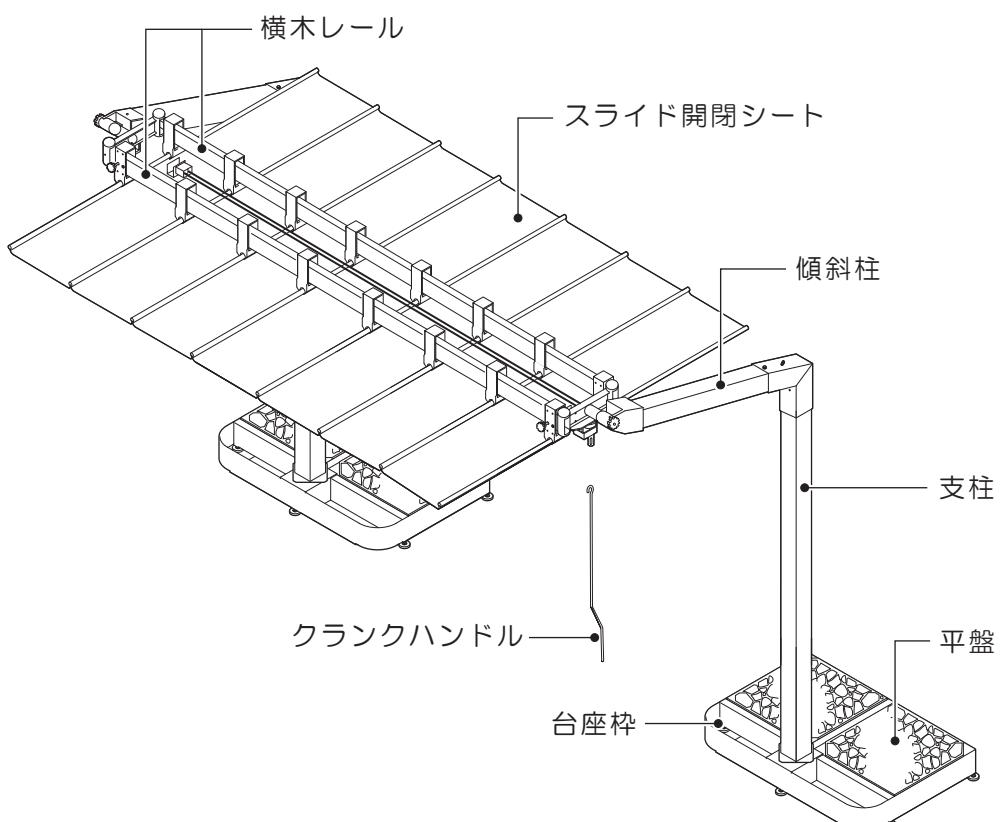
1. 説明

「フレクシー」の組立て説明内容を良く読んで施工してください。説明内容にそって「フレクシー」の組立て施工をされなかった場合、けがや破損の原因になることがあります。安全にお使いいただくために、この説明書を良く読んでお使いください。

2. 警告

この「フレクシー」は悪天候のためのものではなく、日よけ用のものです。強風・雷雨・豪雨や雪の時には、シートを閉じて専用の「保護用カバー」をかけてください。また夜間やシートを確認できない時には、常にシートを閉じて「保護用カバー」をかけてください。それぞれの台座には指定枚数の平盤、または最低560kgで安定させてください。

姿図



<組立て説明書>

構成部品（図1、図2A、図2B、図2C、図3）

図1	A	スライド開閉シート	図2B	E	支柱
	B	保護用カバー		E'	支柱
	C	横木レール（長）2本		e'	六角レンチ（大）
	D	横木レール（短）2本			
	R+R'	継ぎ手	図2C	H	工具類袋
	S	ハンドルネジ		N	台座用かぎレバー
	W	六角レンチ（小）		I	クラシックハンドル
図2A	F	傾斜柱（右）		L	台座枠 2セット
	G	傾斜柱（左）	図3		

図1

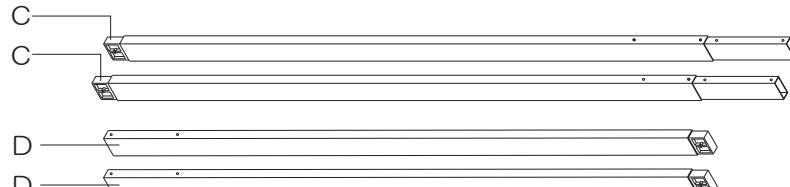
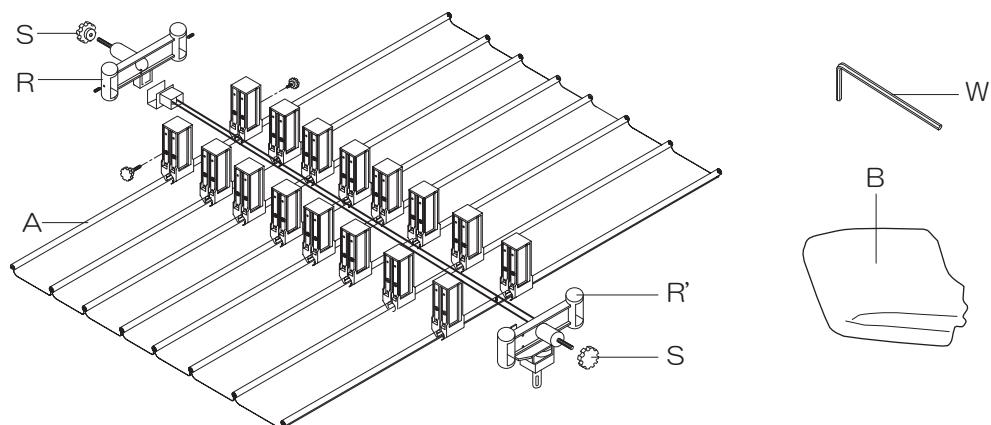


図2B

図2C

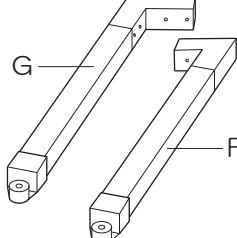


図2A

図2C

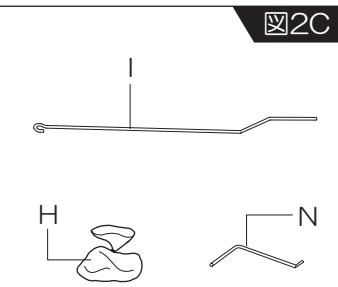
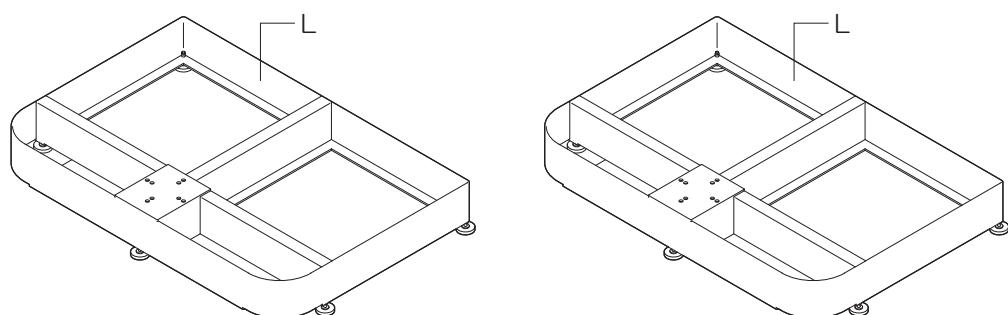


図3



台座の組立てと配置（図4、図5、図6 参照）

- 工具類袋（H）から組立て用の付属部品等を取り出す。
- 台座枠（L）を地面から持ち上げ、4つの穴にボルト（h）を差し込む。
- 支柱（E/E'）と台座枠の位置を合わせ、4本のボルト（h）・ワッシャー・ナットを使い固定する。
- アジャスタ（O）を台座枠に差し込み、地面に接する位置に調整する。



台座のボルト（h）は下側から差し込み、強く締めてください。

- スライド開閉シートの各サイズに適当な間隔（Z）を取り、2つの台座枠を配置する。（4ページ 図7）
サイズ250cm×369cm：間隔（Z）3915mm



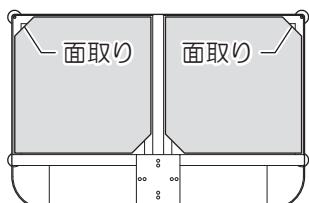
2つの台座枠が、平らで安定した地面(例：コンクリート等)の直線上に水平に設置されているかをご確認ください。平らでない場合は、操作における動作の不具合や商品の機能・性能を落とす要因となります。定期的に設置状況の確認をお願い致します。

- 台座用かぎレバー（N）を使い、下図の順番・方向で平盤を配置する。（図6）



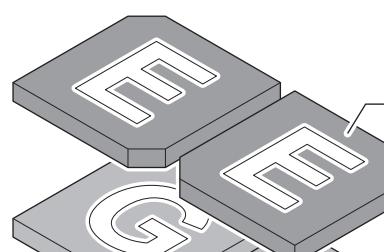
平盤の重量は最低560kgにしてください。

図 4



【平盤の配置】

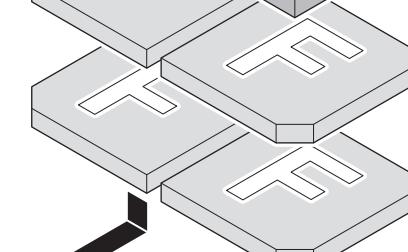
図 5



平盤E(2枚)
タイル石貼り



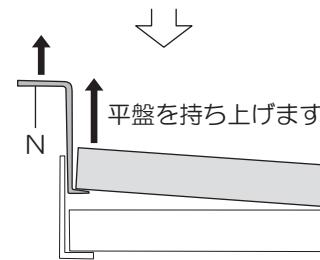
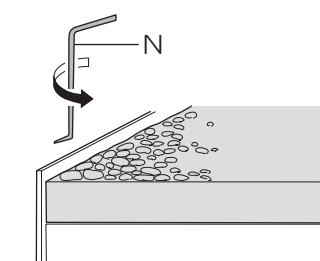
平盤G(2枚)
コングリート



平盤F(4枚)
コンクリート

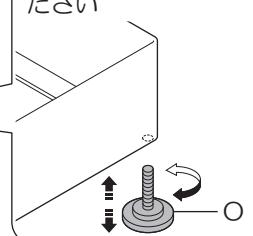
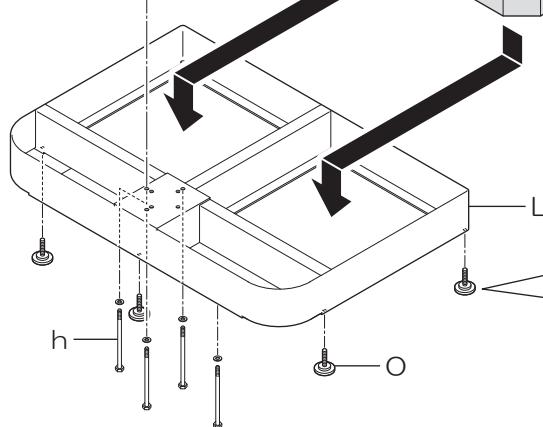
図 6

【平盤を台座枠から外す場合】



台座用かぎレバーをご使用の際、滑ることがありますので、取扱いにご注意ください。

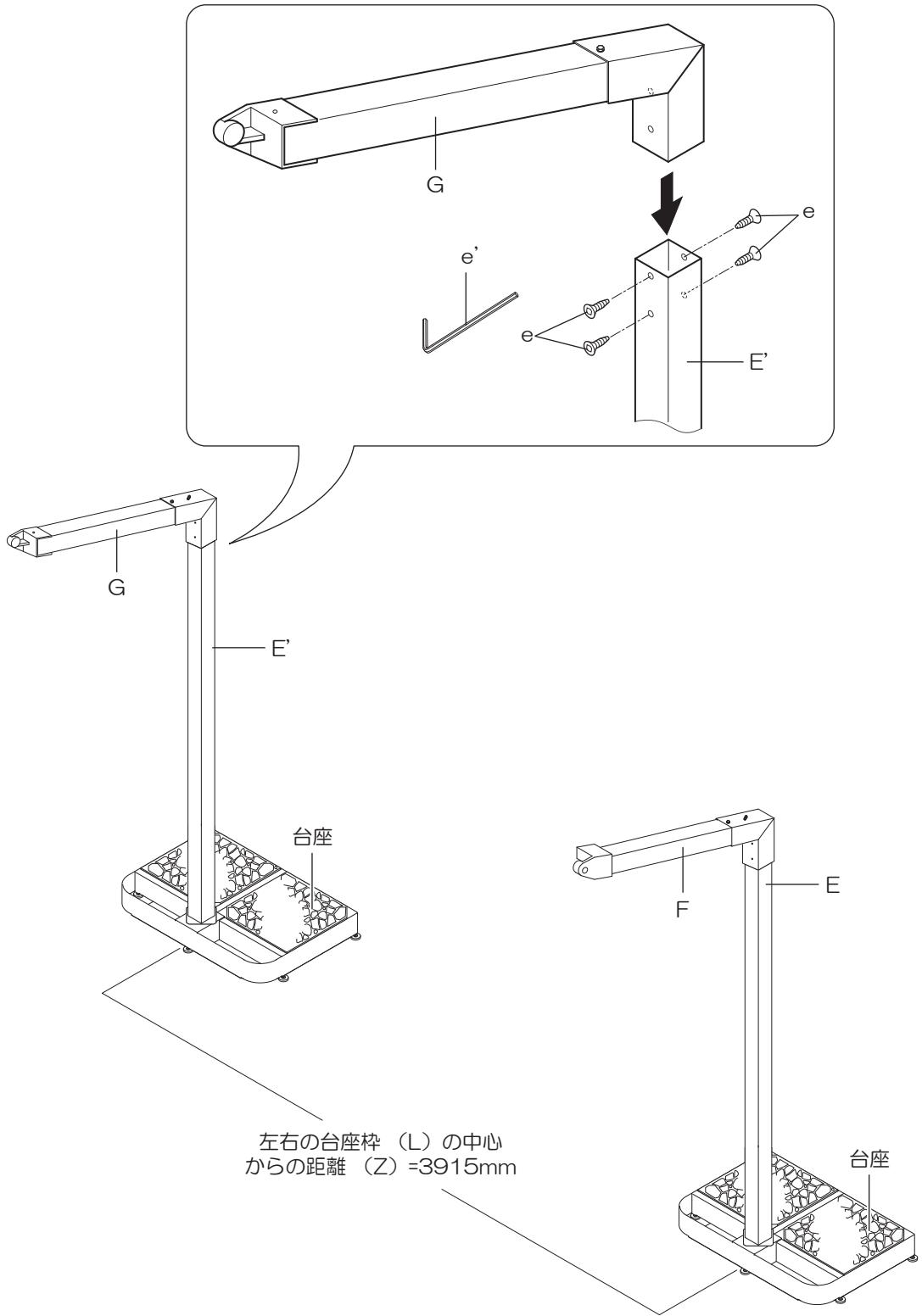
アジャスタが地面に接するように調整してください



支柱の組立て（図7 参照）

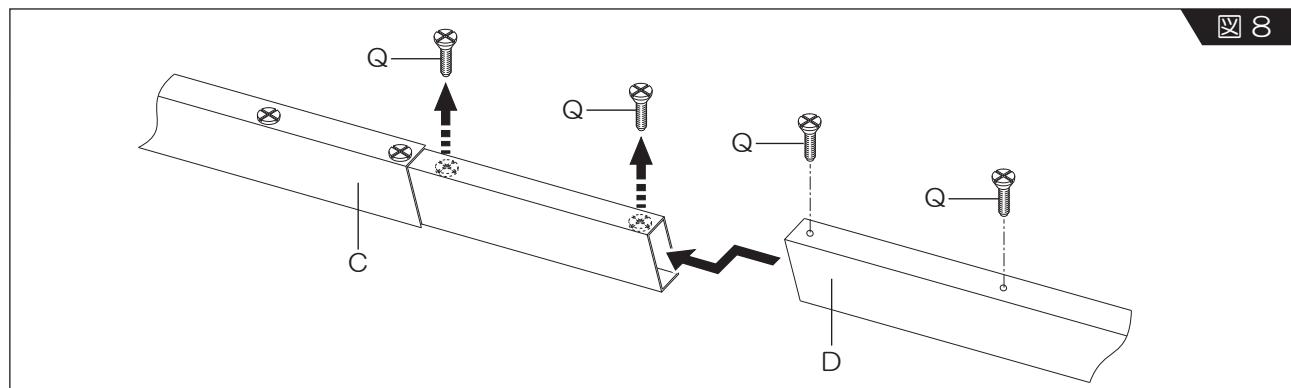
- 支柱（E'）, (E) にあらかじめ付いているネジ（e）を外してから、傾斜柱（F）, (G) をそれぞれの支柱（E）, (E') に差し込んで、外したネジ（e）を付属のレンチ（e'）で締めて組立てます。（図7）

図 7

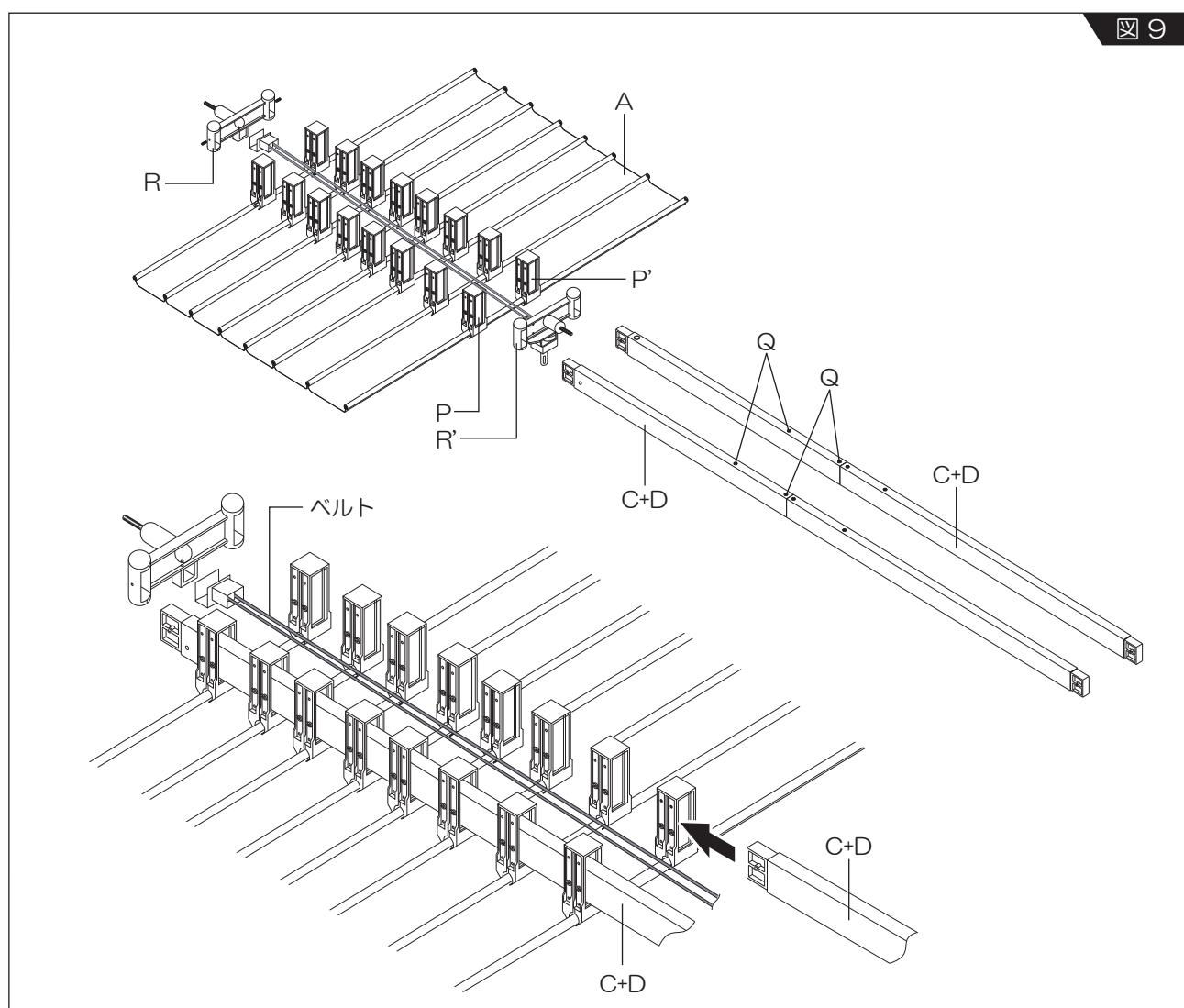


スライド開閉シートと横木レールの取付け①（図8、図9 参照）

1. 横木レール（C）にあらかじめ止めてある2本のネジ（Q）を外してから、横木レール（C）と（D）をはめ込んでつなぎ、ネジ（Q）で止めます。（図8）

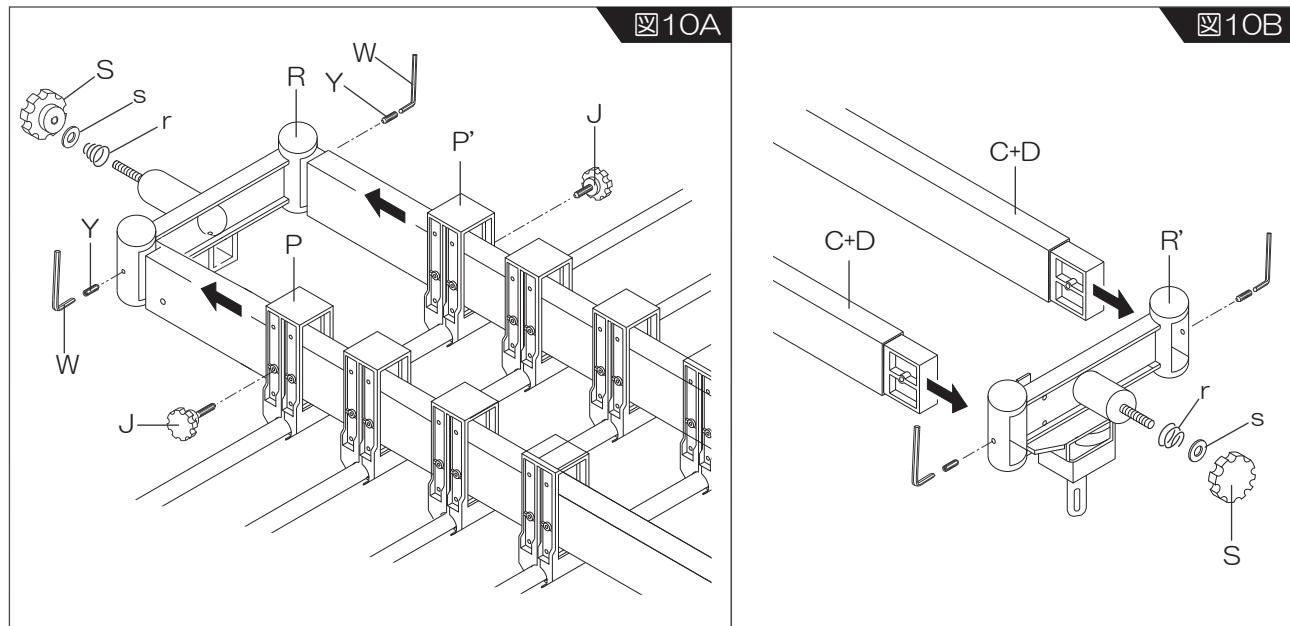


2. ガイド（P）を図9のように線上に並べて配置します。ネジ（Q）で止めた側を上方向にして、横木レール（C+D）をガイド（P）に差し込む準備をします。この時、2つのベルト端部が、からまっていることを確認してください。
3. 2本の横木レールを、ガイド（P），（P'）にそれぞれ差し込みます。（図9）



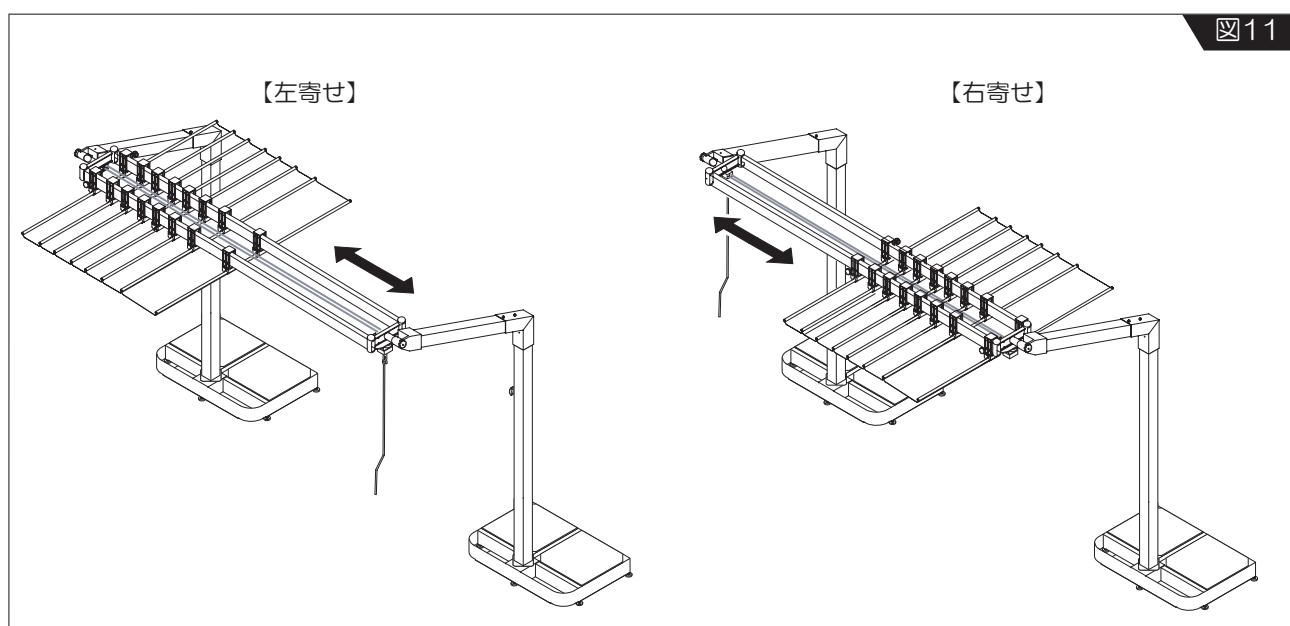
スライド開閉シートと横木レールの取付け②（図10A、図10B 参照）

4. 繰ぎ手の左右（R），（R'）にそれぞれ横木レール（C+D）を差し込み、六角レンチ（W）を使って取付けネジ（Y）でしっかりと固定します。
5. ガイド（P），（P'）を繰ぎ手（R），（R'）に向かって押しつけ、つまみボルト（J）を横木レール（C+D）の穴に差し込んで固定します。
6. 左右の繰ぎ手（R），（R'）からハンドルネジ（S）と座金（s）を外します。ただし、円錐バネ（r）はこの時には外さないようにしてください。



スライド開閉シートの收まりについて（図11 参照）

1. スライド開閉シートを反転させることで、左右どちら側にでも収納側を選ぶことが可能です。（図11）



スライド開閉シートの取付けとベルトの取付け（図12 参照）

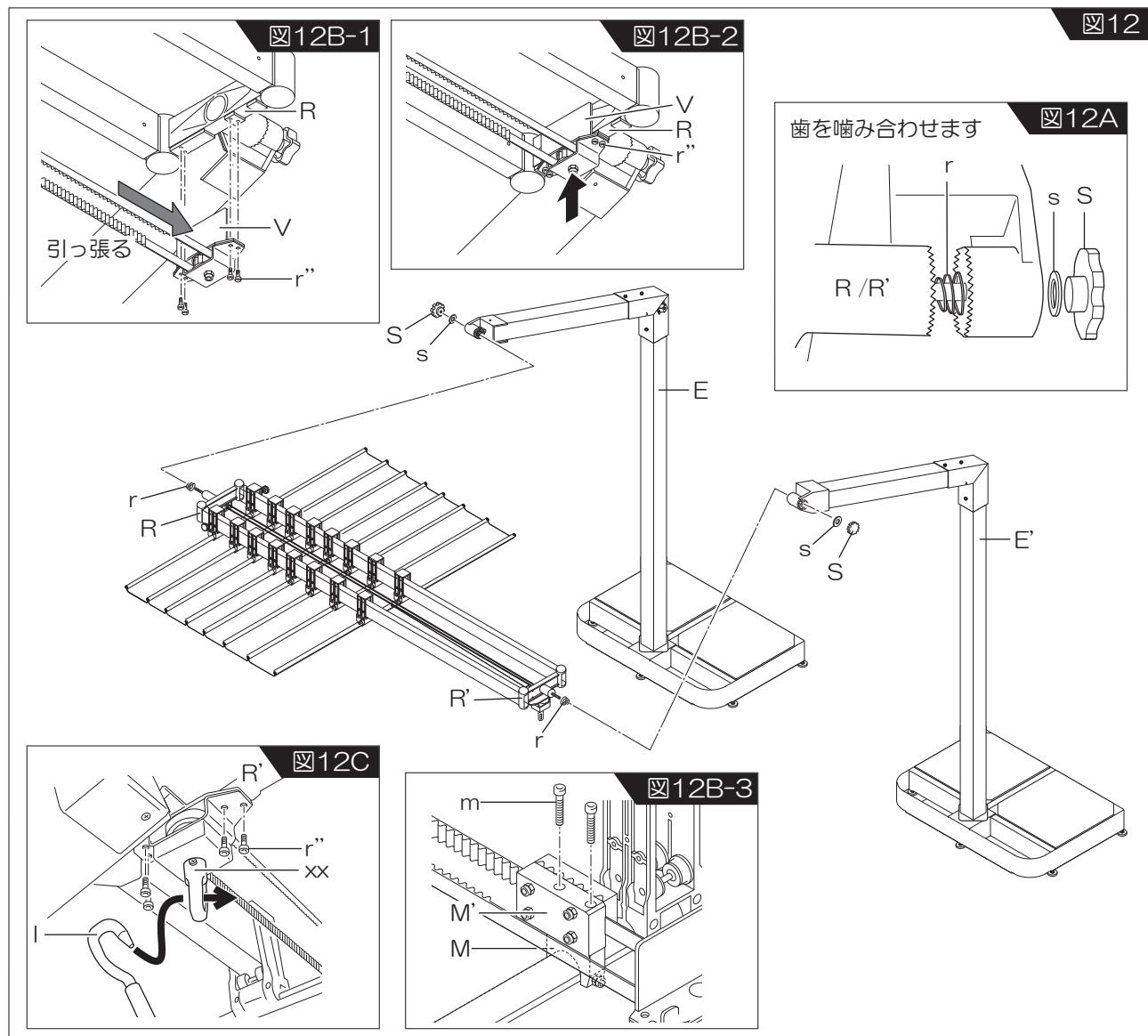


商品の破損を防ぐためにも、作業員2名以上で脚立2台を使用して作業を行ってください。

重要

スライド開閉シートを持ち上げる前に、左右のシートの収納側を確認してください。

1. 繰ぎ手 (R') , (R) の円錐バネ (r) の位置を確認し、スライド開閉シートを持ち上げます。
 2. 繰ぎ手 (R') , (R) をそれぞれの支柱に合わせ、座金 (s) を傾斜支柱の継ぎ手の間に配置し、ハンドルネジ (S) で締めて固定します。 (図12A)
継ぎ手の歯どうしが噛み合わない時は、円錐バネ (r) の位置を再確認してください。 (図12A)
 3. ウインチ付ベルトサポートをネジ (r") 4本で止めます。 (図12C)
 4. 図12B-1、図12B-2を参考にしてベルトサポート (V) を引っ張り、継ぎ手 (R) にネジ (r") 4本で止めます。この時、ベルトがからんでいないか確認をしてください。
 5. 開閉ハンガー (M') をネジ (m) 2本で止めます。 (図12B-3)
 6. スライド開閉シートの開閉は、R'側の継ぎ手のオープン機構 (xx) にクランクハンドル (I) をはめて、回して操作をしてください。 (図12C)
- ※ クランクハンドルは、操作時以外は外して保管してください。
※ ネジは仮止めされていますので、外してから締めてください。

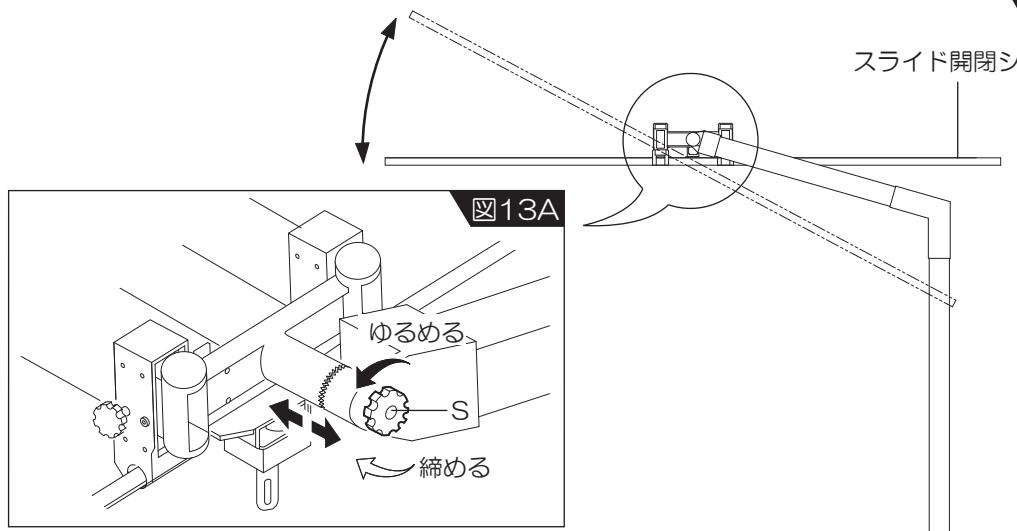


■ スライド開閉シートの取扱い（図13 参照）

1. 傾斜角度の変更

- ・左右両側のハンドルネジ（S）をゆるめ、左右の継ぎ手の歯の噛み合いを外します。
- ・継ぎ手（R, R'）の破損を防ぐため、図13Aの矢印の方向へ継ぎ手を離します。ハンドルネジ（S）の方向へ傾斜柱を押しますと、継ぎ手を離すことが容易になります。
- ・両手でスライド開閉シートを上下させて、傾斜角度を調整します。
- ・継ぎ手の歯が噛み合うように注意して、ハンドルネジ（S）を締めてください。

図13



傾斜角度の変更を行った際は、必ず継ぎ手の歯が噛み合うようにしっかりとめてください。

シート用保護カバーの取付け（図14 参照）

- 保護用カバー（B）をかぶせてファスナーを閉じてから、付属のすべてのボタンを留めます。（図14A、図14B）

図14A

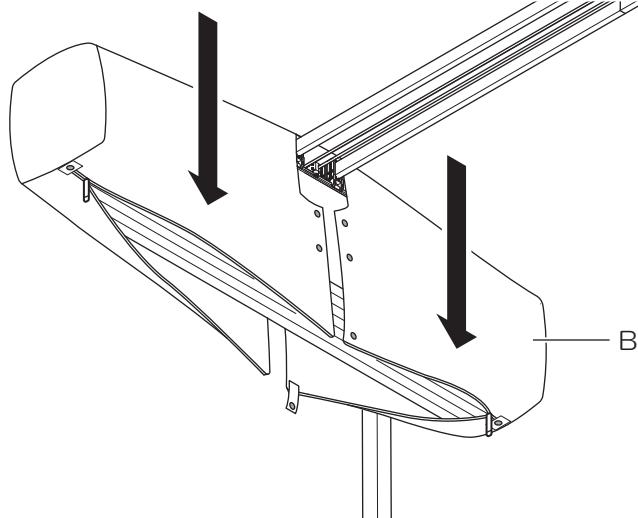
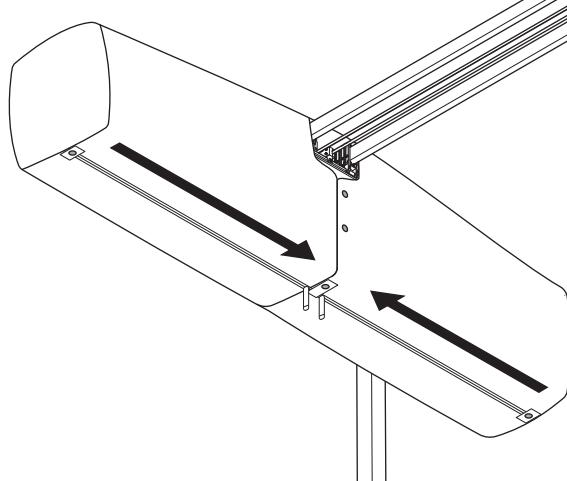


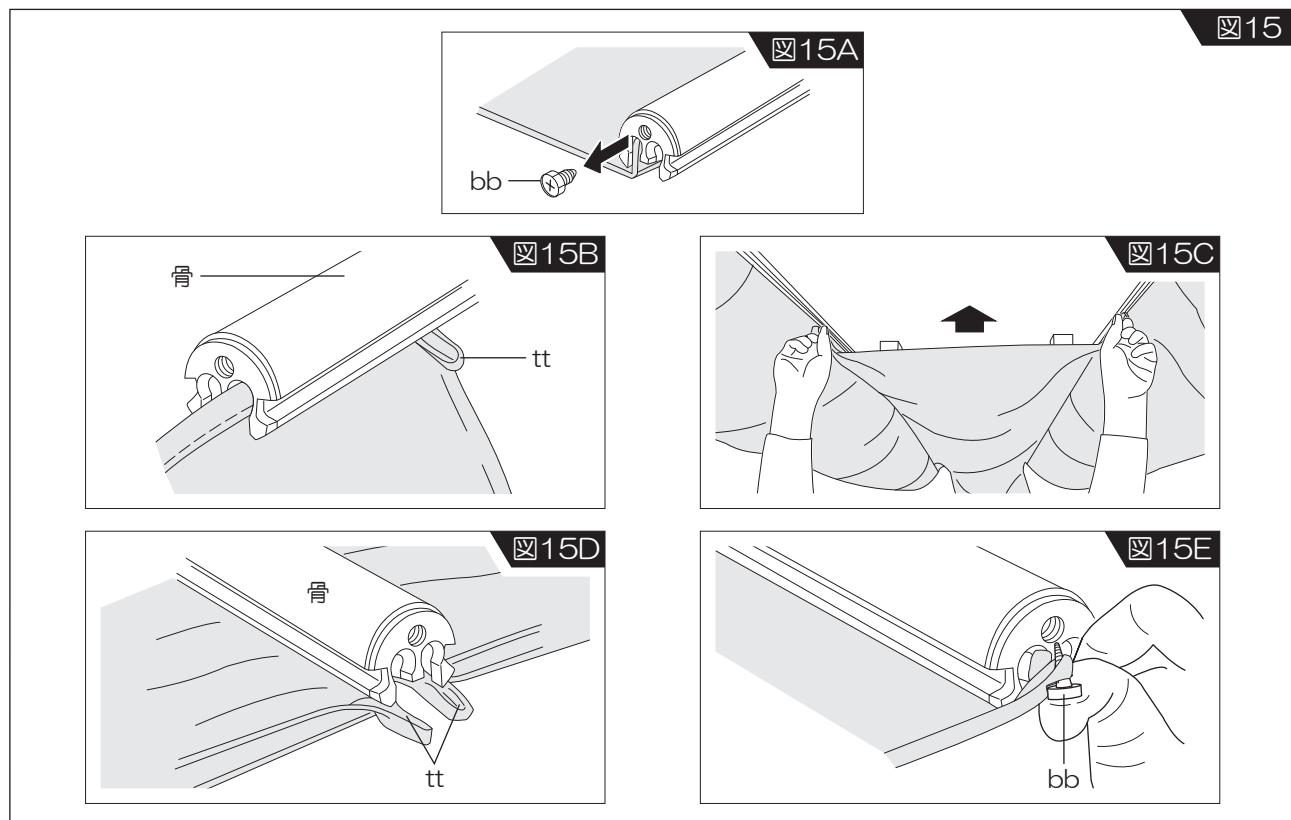
図14B



強風・雷雨・豪雨・雪の時、また夜間、「FREXY（フレクシー）」を常に確認できない状態の時には、必ず保護用カバーをかけてください。シート部分に水がたまらないようにしてください。

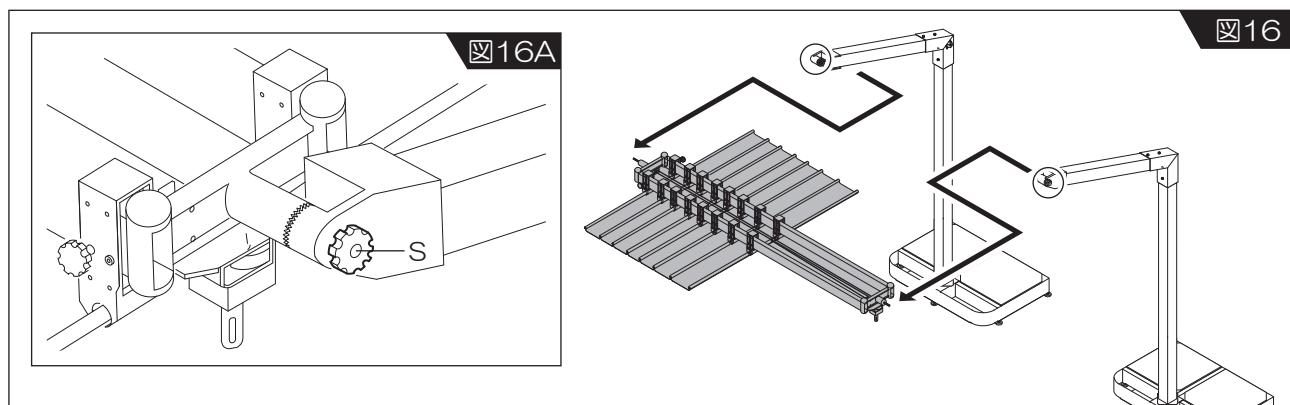
スライド開閉シートの個々の取外しと取付け（図15 参照）

1. スライド開閉シートの両側面の骨の先端から、ネジ（bb）を外します。（図15A）
2. シートの先端を骨の溝にはさみ込んで、反対側の骨の全長の端まで完全に引きます。（図15B、図15C）
3. 各シートのつまみ穴（tt）にネジを差し込みます。（生地によっては、このつまみ穴がない場合がありますので、必ず行う作業ではありません。）（図15D、図15E）
4. 骨の両先端に、ネジ（bb）を取付けます。



キャンバス部の取外し（図16 参照）

1. 左右両側のハンドルネジ（S）を外してください。（図16A）
2. キャンバス部を一式で取外してください。取外したキャンバス部は、安全な場所に保管してください。



台風・暴風時は、上記の手順でキャンバス部を取り外してください。

<メンテナンスと保護>

シートの洗濯

- シートを本体から取外し、ぬるま湯（約30°C）でデリケートな生地用の洗剤を使って柔らかい布で拭いてください。その後、充分にすすいでから、良く乾かしてください。シートを長くお使いいただくためにも、強い日の下での作業は避けてください。
- 工業用の洗濯機で洗う場合は、シートを本体から取外し、中性洗剤で約40°C以下の温度で、プログラム調整はデリケートを選んで行ってください。良くすすいで、乾燥機やアイロンは避け、陰干しの自然乾燥で乾かしてください。

季節の終わりの撤去と保管方法

- 商品を長くお使いいただくために、季節の終わりには「フレクシー」を撤去して、乾燥した場所に保管することをお勧めします。撤去する際には、本体を濡らした布で拭いて汚れを落とし、さらに良く乾かしてください。（シートの洗濯は上記をご覧ください。）



本体が完全な状態かを確認してください。部品に破損がある場合には、購入先に必要な部品交換に関してお問い合わせをしてください。

- 上塗装がはげた場合は、補修をしてください。作動する部分にはシリコンスプレーを吹き付けて、滑りを良くしてください。



カビや錆による損傷を防ぐためにも「フレクシー」を濡れた状態や湿ったままでの保管は避けてください。

<アフターサービスについて>

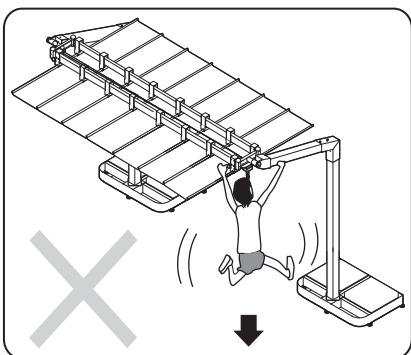
アフターサービスについて

- アフターサービスのご依頼・ご相談は、お買い求めの販売店までご連絡ください。
- お取り扱いまたはお手入れが適当でないために生じた補修および部品交換などは、有償となる場合がございますのでご了承ください。
- 製品の改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございますので、あらかじめご了承をお願いします。

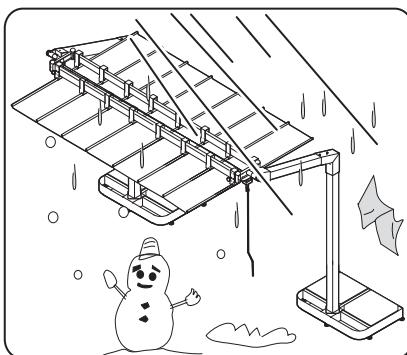
その他

- この商品は正しく取付け・ご使用になりませんと、大きな対物・人身事故につながる恐れがあります。取付け・ご使用の際には、この説明書を良くお読みいただき正しく使用してください。
- この説明書に従わず、お客様の不注意による商品故障・事故につきましては、弊社は責任を負いかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

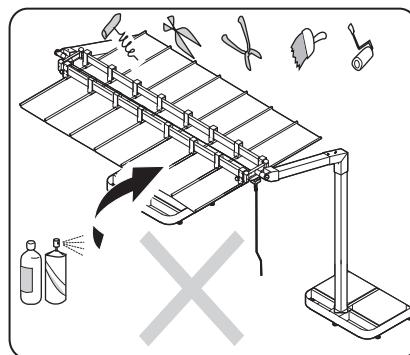
製品使用上の注意事項



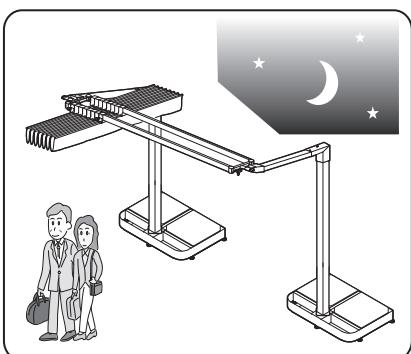
警告 柱やシートにぶら下がったり、本品に植木鉢等重いものを吊り下げないでください。



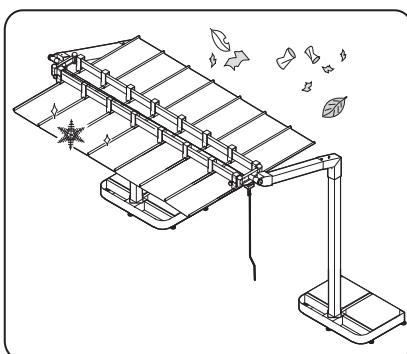
警告 強い風雨の時、積雪の際にはシートを収納してください。



警告 化学薬品は変色などの原因となりますので、洗い流してください。
また独自の判断で本品の強度が落ちるような仕様の変更はしないでください。



警告 夜間や外出の際には、急な天候の変化により本品を破損する恐れがありますので、必ずシートを収納してください。



警告 シートが凍結している場合は、溶けるまで待ってから操作してください。
また、ゴミ等がある場合は、取り除いてください。

